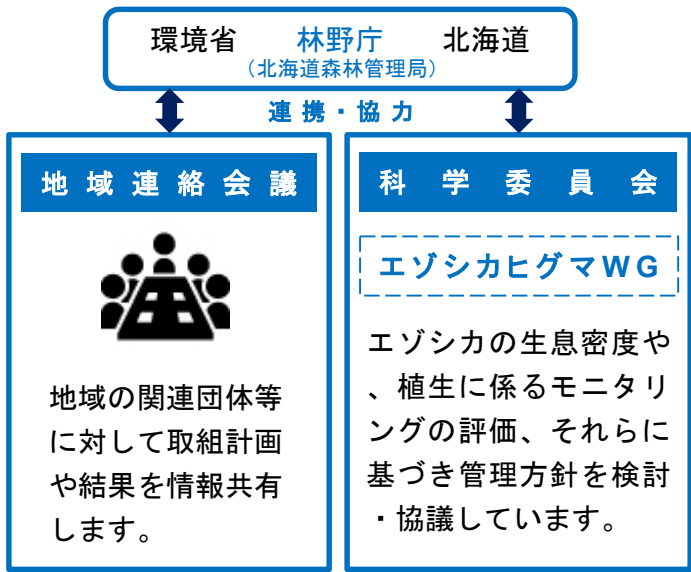


# 知床世界自然遺産地域における エゾシカの捕獲について

知床森林生態系保全センター 片山 洸彰

## 1. 知床世界自然遺産地域の管理体制



## 2. 知床半島のエゾシカ事情



多様性の低下が懸念されています。

### 策定 知床半島エゾシカ管理計画

環境省、林野庁、北海道が主体となって、5年を1期とした計画を策定しています。

目標	対策
1980年代以前の植生を回復させること	個体数調整(捕獲事業) 植生防護柵の設置

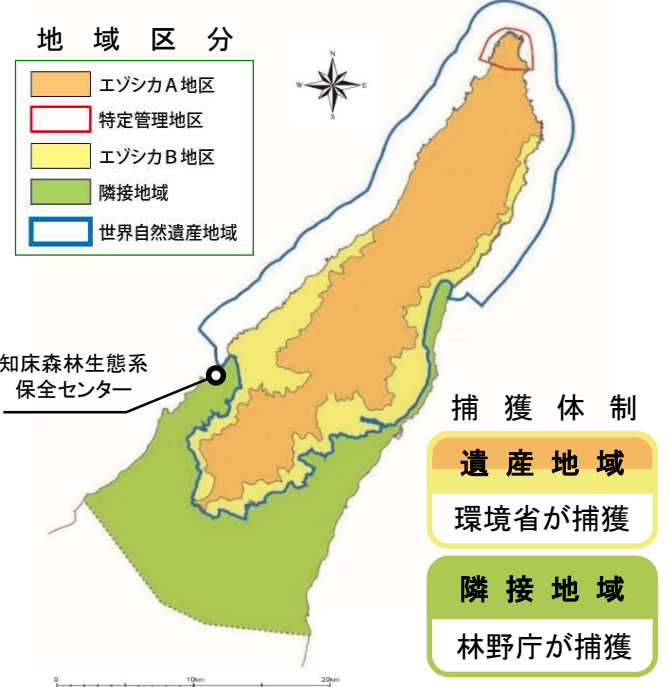
## 3. 知床半島エゾシカ管理計画

区域別管理

遺産地域に加え、エゾシカの季節的な移動や分散を考慮して半島の基部(隣接地域)も管理の対象としています。

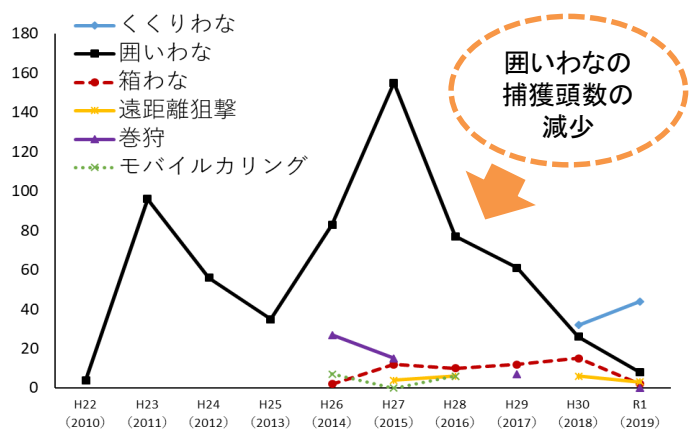
順応的管理

捕獲結果をモニタリング・評価・検証しつつ、管理方針に反映させていく手法を採用しています。



## 4. 隣接地域でのエゾシカ捕獲

隣接地域で捕獲したエゾシカの数 (平成22年～令和元年) **約800頭**



## 5. 課題

- 警戒心の強いシカの増加**  
警戒心の強いシカ(スマートディア)の増加により捕獲が難しくなっています。困いわなや箱わなに加えてくくりわなも導入する等、適宜手法を組み合わせています。
- 生態系の改変のおそれ**  
現在もエゾシカによる植生への影響が強くなっており、今後さらに食害が続けば昆虫や鳥など、生態系全体への影響が懸念されています。